

国道1号藤枝市水上地区における歩行空間の整備について、地域の皆さんと考えます。



水上地区 歩道整備

魅力ある歩行空間の創出に向けて

平成19年11月26日(月)

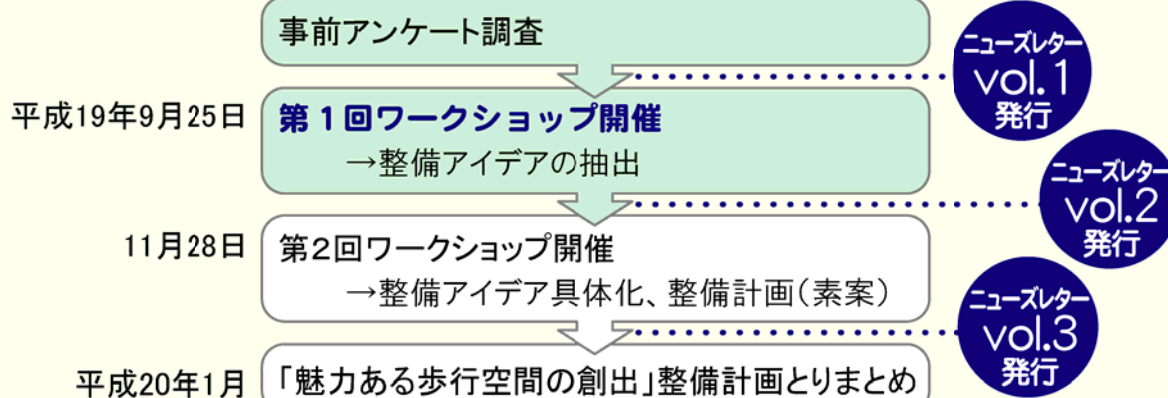
国土交通省
中部地方整備局 静岡国道事務所

魅力ある歩行空間の創出に向けて

国道1号藤枝市水上地区において、地域の皆さまに「安全で快適な歩行空間」として利用頂くため、閉鎖された車両重量検測所の跡地を有効利用した歩行空間の整備について検討します。

歩道整備の検討については、地域と行政の協働により、魅力ある歩行空間の創出を目的として、ワークショップにて実施します。

●ワークショップの流れ



第1回 ワークショップを実施しました!



実施日

平成19年9月25日(火) 藤枝市 瀬戸新屋公民館
19:00~20:30

場所

藤枝市 瀬戸新屋公民館

参加者

青島第8自治会長 瀬戸新屋町内会長
芙蓉台町内会長 水上町内会長
青島小学校PTA会長
青島中学校PTA会長
商工会議所 商業振興対策委員会委員長
商業振興対策委員会副委員長
藤枝市 建設管理課長
商工課長
静岡国道事務所 防災対策推進官
交通対策課長



第1回 ワークショップのご意見



検討手法について

- 対象をだれにするかで整備の方向は変わってくる
- 現在の歩道をどのような人がどのように利用しているか、調査する必要がある
- 対象エリアは広いところ、狭いところがある。区間に区切って検討したらよい

空間整備に関して

- ◆ 車道も含めた道路全体として
 - 車道の片側2車線化
 - 立体化による渋滞対策
 - 駐車場、ポケットパーク
 - 道の駅(片側に車道を寄せる)
 - 駐車場等の整備を考えるには明確な目的が必要
 - 駐車スペースを考えると狭い
 - 駐車車両と沿道施設の出入り車両とが輻輳する
 - 駐車場を整備すると、小学生は自転車で速く走ったり、サッカーをしたりして危険
 - 暴走族のたまり場になっても困る
- ◆ 歩道空間として整備
 - 自転車と歩行者の安全を考える
 - 歩きやすく自転車が安全な空間
 - 通学生徒を対象として安全性確保を主眼に整備
 - 出入り口の安全性確保が必要
 - 車道側に自転車、民地側に歩道を整備
 - 出入り口付近の植栽は低木がよい
 - 水たまりの出来ない歩道
 - 夜間の安全対策(照明の設置)
 - 清掃等の維持管理が重要
- ◆ 景観・休憩
 - 出入り口以外の部分に休憩施設
 - 散歩とかは少なく、休憩施設は不要
 - 景観の問題として植栽は季節を考慮
 - 高木は密に入れない
 - 地覆植物や芝桜がよい
 - ベンチの設置
 - カラー舗装にする
 - 景観を考慮して電柱を地下に埋設
 - ガードレールを擬木
 - 休憩場所にゴミ箱などは置かない

第1回 ワークショップのまとめ

整備基本方針

ターゲット

- 小学生、中学生を中心とした歩行者
- 交通量の多い自転車

コンセプト

- 歩行者、自転車の安全確保が一番

整備方針

- 安全に通学できる歩行環境の確保
- 安全な自転車走行環境の確保
- 維持管理面に配慮した植栽計画
- 道路及び付属物の景観性考慮
- 休憩施設

幅員が広い所



幅員が狭い所



お問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局

静岡国道事務所 交通対策課

〒420-0054 静岡市葵区南安倍2-8-1

TEL 054-250-8908(交通対策課) FAX 054-250-8911

<http://www.shizukoku.go.jp/torikumi/mizukami/>

藤枝市役所

都市建設部 建設管理課

〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1

TEL 054-643-3111(代) FAX 054-643-3280